

資料 1

令和 6 年度事業報告及び 令和 7 年度事業計画について (飯能市地域公共交通計画の評価等の結果)

令和 7 年 6 月 2 3 日

飯能市地域公共交通対策協議会

<地域公共交通計画の評価等結果の様式>

飯能市地域公共交通計画の評価等結果（令和6年4月～令和7年3月）

資料1-1

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考										
基本目標1に対する目標指標 指標1-1 ・実車走行距離あたり利用者数（市内全路線） 基準値1.62人／kmから 基準値以上 指標1-2 ・実車走行距離あたり利用者数（地域幹線） 基準値1.77人／kmから 基準値以上	・施策1 地域主体の利用促進事業 ・施策2 交通事業者等による利用促進事業 ・施策3 市主体のモビリティ・マネジメント ・施策4 利用者への支援制度の充実 ・施策5 担い手への支援の充実	対象となる交通事業者への照会	年間輸送人員／実車走行キロ (令和6年度) 指標1-1 ・市内全路線 1.95人／km 指標1-2 ・地域幹線 2.07人／km <table><tr><td>令和5年度</td><td>1-1</td><td>1.92人／km</td><td>1-2</td><td>2.02人／km</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>1-1</td><td>1.78人／km</td><td>1-2</td><td>1.91人／km</td></tr></table>	令和5年度	1-1	1.92人／km	1-2	2.02人／km	令和4年度	1-1	1.78人／km	1-2	1.91人／km	・市と交通事業者が締結している運行継続のための協定に基づく補助金を継続する。 ・観光施策と連携した公共交通の利用促進事業を引き続き推進する。 ・その他、必要に応じてバス路線の見直しや運行環境の整備について検討する。	
令和5年度	1-1	1.92人／km	1-2	2.02人／km											
令和4年度	1-1	1.78人／km	1-2	1.91人／km											
基本目標2に対する目標指標 指標2-1 将来(10年後)の外出に不安を感じる人の割合 ・当初63% ⇒ 63%未満 指数2-2 路線バスを年間1回以上利用した割合 ・当初34% ⇒ 40%以上	・施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信 ・施策2 乗継環境と道路環境の整備 ・施策3 バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進	市民アンケート調査	—	・公共交通の現状等について、各種事業及び市広報紙等の媒体を通して引き続き情報発信に努める。 ・市内の公共交通の路線や使い方について、新しく作成した「飯能市公共交通マップ」を活用し、より市民（利用者）に対してわかりやすく周知をする。 ・高等学校等の生徒等に対する通学費補助を継続するとともに、高齢者のおでかけ支援事業創設について検討を進める。	「達成状況・分析」については、令和9年度のアンケート調査を基に実施する。										
基本目標3に対する目標指標 指標3-1 飯能市乗合ワゴン(精明地区・加治地区)の収支率 ・当初15.0% ⇒ 20.0% 指標3-2 公共交通利便地域の人口割合 ・当初65.2% ⇒ 現状維持	・施策1 需要と供給に対応した路線設定 ・施策2 地域資源の総動員による移動手段の確保 ・施策3 交通事業者と市のパートナーシップの継続	指標3-1 運行事業者への照会 指標3-2 国勢調査の人口メッシュデータを使用し、算出	(令和6年度) 指標3-1 ・飯能市乗合ワゴンの収支率 13.3% <table><tr><td>令和5年度</td><td>14.5%</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>16.1%</td></tr></table> 指標3-2 —	令和5年度	14.5%	令和4年度	16.1%	・精明地区、加治地区のコミュニティバス路線については、新しい道路の開通等による路線変更を検討する。 ・社会資源の活用により、公共交通が不十分である地域における移動手段確保の検討をする。 ・指標3-1収支率について、当初15.0%の基準値と比較すると利用者人数は減少傾向では無く、収入部分は大きく変わらないものの、物価高騰に伴い経常経費が増大しているため、収支率は下がる結果となった。次年度は運賃収入以外で収入が得られるよう取組みを進める。	指標3-2の「達成状況・分析」については、令和7年度実施予定の国勢調査を基に実施する。						
令和5年度	14.5%														
令和4年度	16.1%														

（記載に当たっての留意事項）

- ・本様式中、表題の「（○年○月～○年○月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・毎年度の評価になじまないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外は「—」と記載して下さい。
- ・一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式が既にある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

第2次飯能市地域公共交通計画

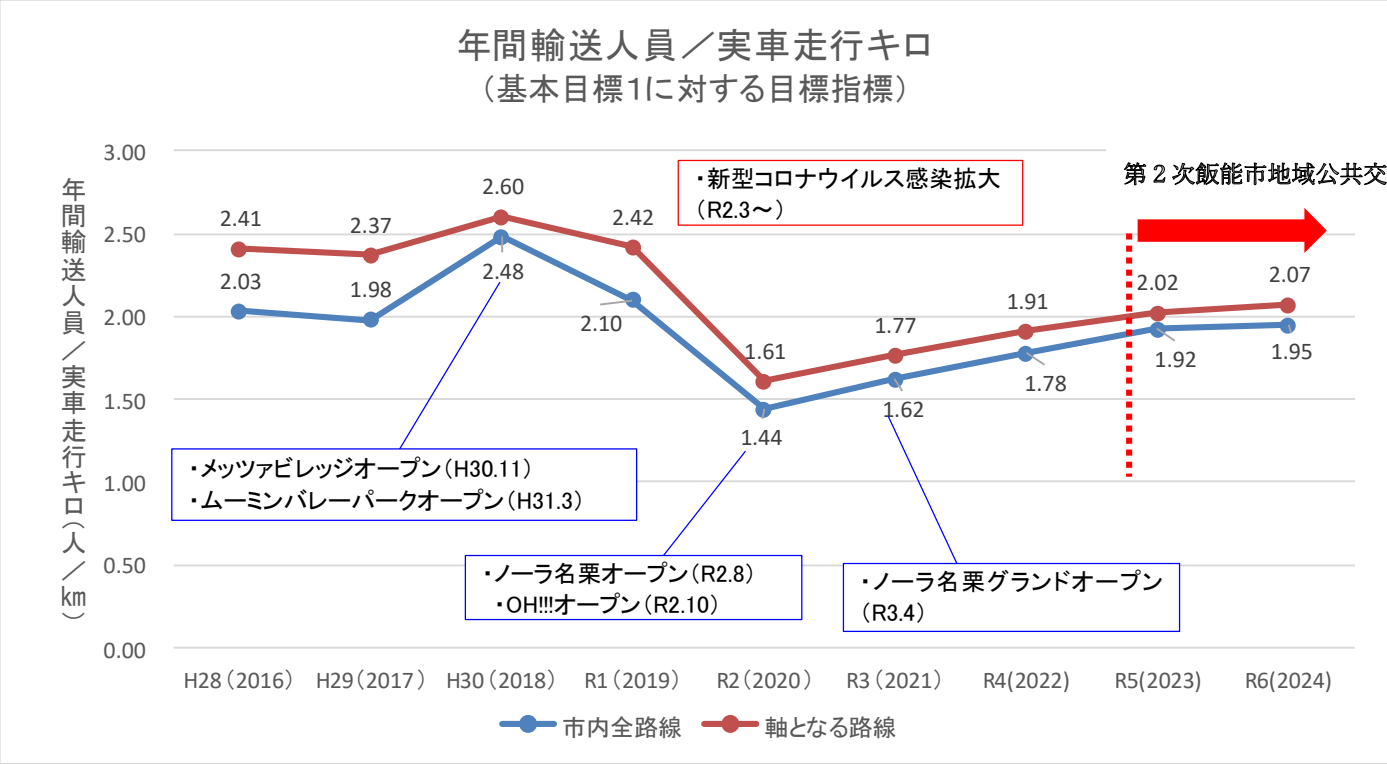
資料 1-1 参考資料

■基本目標1「みんなでまもり、育てる地域公共交通」に対する目標指標

指標 1-1 市内全路線 当初 1.62 人／kmから基準値以上

指標 1-2 軸となる路線 当初 1.77 人／kmから基準値以上

■数値推移（H28～R6）※第2次飯能市地域公共交通計画はR5～



軸となる路線：

- ・国際興業バス 名栗本線（湯の沢線、名栗車庫線、名郷線、上赤沢線）、双柳循環線、西武飯能日高線
- ・西武バス 美杉台線
- ・三社共同運行 メツァ線

■基本目標3「みんなでつくる公共交通」に対する目標指標

指標 3-1 飯能市乗合ワゴン（精明地区・加治地区）の収支率 当初 15.0%⇒20.0%

■数値推移（R4～R6）

指標	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	目標値
指標3-1 飯能市乗合ワゴン（精明地区・加治地区）の収支率	15.0%	16.1%	14.5%	13.3%				20.0%

参考：24 ページ記載 1 便あたりの利用者数達成状況

指標	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	目標値
(計画24ページ) 飯能市乗合ワゴン（精明地区・加治地区）の1便あたりの利用者数	3.71人	3.83人	4.20人	4.02人	※4.60人			5人

※R7.4・5月のみ

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

基本目標1：みんなでまもり、育てる公共交通

■施策1 地域主体の利用促進事業

- お散歩マーケットの開催（春・秋）（間野黒指バス停）
（春）5/5（日） 実施（晴） 参加者 995人
（秋）11/17（日）実施（晴） 参加者 493人
主催：お散歩マーケット実行委員会 協力：市、国際興業バス
- 名栗ふるさとまつり（ノーラ名栗・さわらびの湯バス停）
10/6（日）実施 会場 ノーラ名栗 参加者 約2,200人
主催：名栗ふるさとまつり協賛会

■施策2 交通事業者等による利用促進事業

- ～2024 年感謝を込めて～国際興業バスまつり in 飯能（国際興業）
実施日：12/15（日）
会 場：椿本チエイン埼玉工場 駐車場内特設会場
内 容：車両展示、バスに関するイベント
参 加：1,743人



- 「ヤマノススメ Next Summit」～車内アナウンス（国際興業）
人気アニメ「ヤマノススメ Next Summit」のキャラクターによる車内アナウンスを10月1日より開始した。
- バス好き大好き！「国際興業×西武バス」レトロバス撮影会ツアー（国際興業、西武バス）
内 容：両車単体、並びでの撮影両方を楽しめるバスファン向けバスツアー
実施日：2/1（土）



- 八高線全線開通90周年記念イベントの開催（JR 東日本）
10月6日に八高線全線開通90周年を迎えたことを記念し、イベントを開催
内 容：八高線全線開通90周年記念列車の運転、「八高線全線開通90周年重ね捺しスタンプラリー」の開催 等
期 間：10月1日（火）～31日（木）
※イベントにより実施日は異なります

2024年9月20日 JR 東日本ニュースより引用



○ムーミンバレーパークおでかけバス（デジタル）の販売（西武鉄道）

- ①西武線全線が1日乗り降り自由の乗車券
- ②飯能駅北口～メッツァ間のバス往復乗車券（バス3社）
- ③ムーミンバレーパーク1デーパス
3点がセットになったデジタル企画乗車券を販売
発売：1月14日～通年



© Moomin Characters TM

■施策3 市主体のモビリティ・マネジメント

- 「飯能市公共交通マップ」の配布
市内公共施設、駅、観光施設で配布
転入者、運転免許返納者（飯能警察署協力）に配布
- バスの乗り方教室の開催（国際興業）
日時：12/11 10:50～11:35（晴）
参加者：18人（飯能第二小学校全校生徒対象）
会場：第二区地区行政センター東側民有地
内容：実際にバスに乗る体験を通して、安全なバスの乗り方を学習する。
イベント参加者にノベルティグッズ配布 協力：国際興業株式会社



■施策4 利用者への支援制度の充実

- 運転免許自主返納者に対する奨励策の実施（新設）
実 績：交付件数 297件 交付金額 1,485千円
- 高等学校等通学費補助制度による支援 ※（ ）内前年度比
実 績：交付件数 159件（+1件） 交付者数 150人（+5人）
人数内訳：高校 104、大学 36、専門 8、中学 8、短大 2、大学院 1
地区内訳：名栗 20、原市場 94、永田台 27、その他第二区 8、南高麗 1
補助金額 約931万円（▲約13万円）

■施策5 担い手への支援の充実

- 「飯能市公共交通マップ」にバス運転士・タクシードライバー募集記事掲載
飯能市紹介欄を差し替え「バス運転士・タクシードライバー募集」記事を掲載

基本目標2：みんなが使いやすい公共交通

■施策1 利用しやすい待合環境の整備と情報発信

- 飯能市乗合ワゴン（精明・加治・原市場・南高麗）
GTFS データリポジトリにデータの登録・公開
運行内容見直しに伴い、GTFS データリポジトリにデータの登録・公開
ジョルダン（ジョルダン株）、駅すばあと（株）ヴァル研究所）に掲載
（Yahoo 路線情報も併せて掲載）
- バス停へのベンチの設置
西武バス美杉台ニュータウン方面行きのバス停に「はしらベンチ」を設置した。
- 飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」アルプス美杉台店停留所整備
利用者から整備の要望が多かった「アルプス美杉台店」上り（図左）、下り停留所（図右）の舗装工事を実施した。



施策2 乗継環境と道路環境の整備

- 区画整理事業の進捗（双柳・笠縫・岩沢）
区画整理事業の進捗により、道路環境の整備が進んだ。

基本目標3：みんなでつくる公共交通

■施策1 需要と供給に対応した路線設定

- 原市場地区・南高麗地区 飯能市乗合ワゴンの運行内容見直し
本格運行開始後の利用状況、乗込調査の結果、意見を踏まえた見直しの実施
9/1～ おでかけ通信8号発行 10/1～運行内容変更
- 精明地区・加治地区飯能市乗合ワゴンの一部経路変更に向けた準備
R7.4/1～ 一部経路変更（笠縫北移設、白髪白山神社新設）
沿線地区の自治会に周知（9/1～回覧）、変更の案内掲示

■施策2 地域資源の総動員による移動手段の確保

- 「社会福祉法人名栗園送迎車を活用した住民移送事業」実証運行
市と社会福祉法人名栗園の確認書締結により、精明地区において地域住民の移動の足を確保するため、敬愛園～精明地区行政センター間において実証運行を行った。

令和6年度「名栗園移送サービス」実績

- R6.6.1～R7.3.31
運行日数：毎週金曜日 41日
利用者数：延べ10人



- 「飯能リハビリ館送迎車両の空席を活用した住民移送事業」実証運行
市と医療法人徳明会の協定締結により、南高麗地区において地域住民の移動の足を確保するため、川崎～小室クリニック間において実証運行を引き続き行った。

令和6年度「飯能リハビリ館移送サービス」実績

- R6.4.1～R7.3.31
運行日数：毎週火曜日 51日
利用者数：延べ22人
登録者数：53人



■施策3 交通事業者と市のパートナーシップの継続

- 国際興業バス4路線に対する補助金の交付
地域乗合バス路線対策費補助金交付要綱に基づき、補助金を交付した。
補助金交付路線：国際興業バス 湯の沢線、名栗車庫線、名郷線、上赤沢線
- 精明地区・加治地区 飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」の運行（国庫補助活用）
精明地区・加治地区において運行した。

令和6年度飯能市乗合ワゴン運行実績（R6.4.1～R7.3.31）

- ・運行便数 1,136便（±0） ※（ ）内前年度比
- ・利用者数 4,569人（▲216） 便平均 4.02人（▲0.19）
- ・精明東 1,414人（▲212） 便平均 4.98人（▲0.75）
- ・精明西 995人（▲198） 便平均 3.50人（▲0.70）
- ・加 治 2,160人（+194人） 便平均 3.80人（+0.34）

みんなで乗って育てよう
おでかけむーま号



第 2 次飯能市地域公共交通計画 令和 7 年度事業計画（案）

【基本方針】暮らしを支える地域公共交通の実現をめざして ～市・交通事業者・地域が協働して「まもる・育てる・つくる」公共交通～

基本目標 1 みんなでまもり、育てる公共交通 ～利用促進・意識啓発・担い手支援～			基本目標 2 みんなが使いやすい公共交通 ～運行環境整備・利便性向上～			基本目標 3 みんなでつくる公共交通 ～地域公共交通網のり・デザイン～		
目標指標	基準値（R3）	目標値（R9）	目標指標	基準値（R4）	目標値（R9）	目標指標	基準値（R4）	目標値（R9）
実車走行距離あたり利用者数（市内全路線）	1.62 人／km （スクール路線を含む）	▶ 基準値以上	将来（10 年後）の外出に不安を感じる人の割合	63%	▶ 63%未満	飯能市乗合ワゴン（精明地区・加治地区）の収支率	15.0%	▶ 20.0%
実車走行距離あたり利用者数（地域幹線）	1.77 人／km	▶ 基準値以上	路線バスを年間 1 回以上利用した割合	34%	▶ 40%以上	公共交通利便地域の人口割合	65.2%	▶ 現状維持
施策 1：地域主体の利用促進事業			施策 1：利用しやすい待合環境の整備と情報発信			施策 1：需要と供給に対応した路線設定		
○地域団体による利用促進 ・地域が主体となり、公共交通を使ったイベントやスタンプラリー等を実施する。			○飯能市乗合ワゴン（精明・加治・原市場・南高麗）GTFS データリポジトリの登録情報の更新 ・時刻表変更等の最新情報を更新し、各種乗換案内サイトで検索を可能にする。			○飯能市乗合ワゴンの運行内容変更・検討 ・市道の廃止及び開通に伴い、実証運行開始時から地域住民より設置の要望が強く挙がっていた「白髪白山神社」に停留所を新設。引き続き、地域の要望や利用実績により利便性を維持しつつ、効率的な運行となるよう検討を行う。		
施策 2：交通事業者等による利用促進事業			○待合い環境の整備方針の作成検討 ・停留所へのベンチ設置について、関係者と協議しながらルールの作成を検討します。			○交通空白地解消に向けた検討 ・国、県のサポートを受けながら、何らかの対応が必要な交通空白地解消に向けた施策の検討を行う。		
施策 3：市主体のモビリティ・マネジメント			施策 2：乗継環境と道路環境の整備			施策 2：地域資源の総動員による移動手段の確保		
○公共交通を理解してもらう取組の実施 ・市内のイベント等においてバスの乗り方教室など利用促進、意識啓発のための事業を実施する。 ・「飯能市公共交通マップ」を活用するなど、 わかりやすい公共交通を目指した取組を実施する。			○飯能駅前・東飯能駅前ロータリーの使い方の検討 ・ロータリーの使い方や情報提供の方法について必要に応じた改善を行う。			○送迎バス等の活用 ・飯能リハビリ館移送サービス実証運行を継続して実施する。 ・社会福祉法人名栗園移送サービス実証運行を継続して実施する。6 月末を目途に利用状況、地域の需要により、今後について法人と協議する。		
施策 4：利用者への支援制度の充実			○市内道路環境の整備 ・元加治駅周辺について、南口駅前広場や接続道路の配置を検討し、関係機関との協議を重ねており、交通ネットワークの構築に向けて整備を進める。（区画整理課） ・阿須小久保線の開通、久下六道線の整備など市内道路網の課題解決に向けた取組を推進する。 ・下加治地内「飯能靖和病院」（イーグルバス、西武バス）停留所付近の交差点改良工事を実施し、道路環境の整備を行う。（道路建設課）			○国庫補助制度等の活用による路線の維持・確保 ・地域内フィーダー系統補助金を活用し、飯能市乗合ワゴンの路線の維持を行う。		
施策 5：担い手への支援の充実			施策 3：バリアフリー化、ユニバーサルデザイン化の推進			施策 3：交通事業者と市のパートナーシップの継続		
○公共交通空白地有償運送事業補助制度の継続 ・引き続き自家用有償旅客運送事業者を支援する。			○飯能市乗合ワゴン（精明・加治）のキャッシュレス決済導入検討 ・運行事業者である西武ハイヤー(株)と協議し、検討を進める。			○市補助金の支出による路線の維持・確保 ・市と国際興業(株)との協定に基づき、湯の沢線、名栗車庫線等の運行に対する補助を実施する。 ・市とイーグルバス(株)との協定に基づき、飯能駅・宮沢路線の運行に対する補助を実施する。		
○市内での国交省認定講習会の開催 ・市内自動車学校で講習会を実施する。								
○担い手不足解消の検討 ・その他交通事業者等の運転士（担い手）不足解消のための取組を検討する。								

